

絆とやすらぎの里栗井村

作家・あさのあつこさん

栗井地区を視察(五月十七日)

作家活動に多忙な毎日をごさ
取材で、みまさかフィルムコミ
の来られました。あさのあつこ
の小説を大谷健太郎監督で映
そこで栗井地区はどのよう
るのでしようか。今から心が弾
す。春日座では実際に舞台上
小学校に立ち寄り、その後「能
の家」で昼食、とてもすばらしい
会でした。



とてもおいしいごはんを感じました。
豪華すぎるくらいです。くりごはんと、お
吸い物とおつけものだけでもセットにでき
ると思いますよ。☆大谷監督にも次回また
食べていただきたいと思いました。
お母様方々にもご無理して集まっていた
だいていたのではないかと心配しています
が、少しでも小説のエッセンスになっ
てるよう、私も祈っております。ありがと
うございました。「美作市商工観光課AK」

自治会活動賠償責任保険加入

九月十日、栗井自治会は、「自治会活動賠償責任保険」に加入しました。これは「栗井自治振興協議会・役員会」の決定によるものです。自治会とは栗井地区住民全員が対象です。ただし、「商店会」「PTA」「婦人会」「老人会」「子供会」での活動は対象外です。(別途保険があるため。)支払われる保険金は、1 損害賠償の保証、2 傷害見舞費用の補償、3 傷害の保証、4 費用障害の補償です。ほぼ全ての組織での活動が保証の対象です。1年契約で、行事等の届けも必要ありません。経費は、栗井自治振興協議会、栗井地区村創りの会、能登香の湯、能登香の家の四者で分担して負担します。

環境整備作業(九月二十七日)



「能登香の家」に47人、「作東老人福祉センター」に57人、ゲートボール場に9人、合計111人、かつてない多数の方の協力がありました。おかげでどちらも大変きれいになりました。作業の最後に、能登香の家の斜面の草刈り倒す様子はとても圧巻でした。力を結集すると意欲も高まり、能率も上がり予想を遙かに超えた作業結果が出ることが分かりました。参加して下さった皆さんのやる気も伝わり、感動的でした。



この団結力と集中力があれば、学校統合後の栗井地区は安泰です。本堂に勇気の湧く活動になりました。また、多数の食事を担当して下さいました。料理方にも大いに感謝です。

共生対流事業

栗井マップ改訂版作成中

広報誌「あわい村」17号でお知らせした改訂版「栗井マップ」ですが、皆さんからの意見がなかなか集まりません。「北向き不動院」と「御旅所」についてはいわれ等の情報を頂きました。「大納言墓石」「栗井中村城跡」「銀山探掘跡」「魔狩地蔵」についても分かります。「堂屋敷」は場所が特定できません。「殿屋敷」は場所が分かりますが内容が分かりません。各地区の情報を事務局までお寄せ下さい。これが最終版です。今後、栗井村のイメージポスター、能登香の里のパネルと共通の三点セットで栗井を紹介していきます。十一月作成を予定しています。絆とやすらぎの里栗井村のホームページ、栗井村のブログでは随時情報を発信していきます。取材等の要望をお寄せ下さい。

栗井地区村創りの会

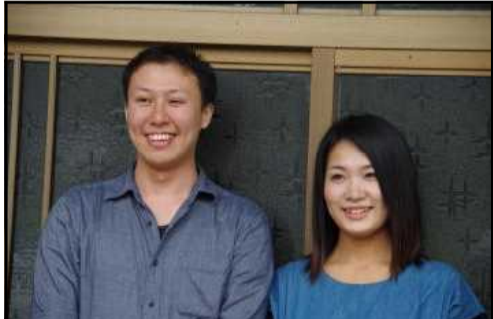
「九月二十日」



昔見た農村の風景。志民から頂いたわらで再現してみたい。食文化の継承とあわせて農村の技術の継承です。今度は、みんながかかしくりに挑戦します。参加して下さいね。



十月一日より地域おこし協力隊



山中一之さん、さやかさん
赤星隊員に次いで二人目の隊員が栗井地区に来てくれました。関西方面からの移住で、山中一之・さやかさんご夫妻です。栗井中に住まわれます。赤星隊員同様よろしくお願いいたします。
10月1日からの採用です。とても明るい好青年です。栗井の活性化に強力助っ人登場です。みなさんよろしく。



住居を提供して下さいました家主さんにも感謝です。

学校統合に関すること

栗井小学校・校舎跡利用の方向

校舎は、当面「生涯学習センター」の方向で検討しています。自治振の生涯学習部(公民館活動の検討)、栗井地区村創りの会の教育部と連携して、「栗井公民館(CCLC)」としての活動を計画しています。そこで「趣味の会」「カルチャースクール」調理体験教室」等を開設します。また、学童保育も栗井地区独自の形で開設を検討中です。農産加工室、調理室をまず最初に校舎におろす計画です。出来ることから始めます。
栗井地区防災センターとしての機能を充実させていきます。地滑り等の災害時に長期滞在できる機能を備え、平常時には、他の活動にも使用します。栗井地区自主防災会も検討中です。
「能登香の湯」は、作東老人福祉センターの様子を見ながら将来の課題として少し先延ばしします。
「栗井診療所」の移転も少し先の課題とします。
今までの計画「栗井地区の将来ビジョン」は、白紙にするのではなく、進化させて継続していきます。
★全てのことについて、当面の課題は維持管理と運営にかか。